

肥前精神医療センター

基本理念 <The Most Important Person In This Hospital is the Patient.>

病院紹介文

当院は、佐賀平野の東部、自然の美しい吉野ヶ里町にあり、全国的に有名な吉野ヶ里歴史公園（吉野ヶ里遺跡）に隣接しています。東京ドーム約6個分の広大な敷地には病棟以外にも本格的なグラウンドなど様々な施設が整備されています。また、高速のインターチェンジから車で3分とアクセスも便利です。

児童思春期の情緒障害と発達障害、精神科スーパー救急、精神科リハビリテーション、アルコール・薬物依存、認知症、神経症、精神科身体合併症、司法精神医学など、現代の精神科医療に求められるほとんどの機能と専門領域毎の専門医や専門外来、専門病棟を有するわが国でも数少ない多機能（オールラウンド）型精神科医療機関です。

昭和20年の開設初期より「この病院で最も大切な人は患者さんである」という理念を掲げております。今では当たり前のようなことですが、私たちの医療の基本がここにあります。その理念の下、これからも人としての尊厳と人権を守り、信頼される医療を提供し、高度の医療・臨床研究・研修の創造的統合をめざします。

【施設概要】2023.7.1（データは2022年度実績）

1. 所在地 〒842-0192 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町三津 160 番地
2. 特徴 児童思春期の情緒障害と発達障害、精神科スーパー救急、精神科リハビリテーション、アルコール・薬物依存、認知症、神経症、精神科身体合併症、司法精神医学など
病院機能評価認定施設
3. 診療科 精神科・神経内科・内科・小児科・リハビリテーション科・児童精神科・老年精神科・歯科
病床数 504 床
（精神）404 床
（重症心身障害）100 床
4. 薬剤師数（定数：7名）
薬剤部長 1 名、副薬剤部長 1 名、主任 3 名、薬剤師 2 名、助手 1 名
5. 主な業務
（ア）調剤 入院 53,832 枚/年、外来 33,916 枚/年（院外処方率 97.1%）
（イ）注射 入院 17,423 枚/年、外来 1,022 枚/年
（ウ）薬剤管理指導件数 2,482 件/年（206.8 件/月）
（エ）チーム活動 ICT（感染対策向上加算Ⅰ・指導強化加算）
医療安全対策（医療安全対策加算Ⅰ・医療安全対策地域連携加算Ⅰ）
NST（栄養サポートチーム加算）
（オ）治験 実施課題数 14 件

6. 特徴的な業務
- ① 患者さんの社会復帰支援のため様々な教室を多職種連携により開催
(アルコール・薬物依存教室、糖尿病教室など)
 - ② 年一回重症心身障害児(者)病棟の家族を対象とした多職種による個別面談
 - ③ 外来患者に対する薬剤管理指導
 - ④ 治験管理室との業務連携
(治験薬の調剤・調製、払出、管理簿記載、治験薬保管室の温度管理などを実施)

7. R4 年度の取り組み
- ① 依存症病棟、精神科スーパー救急病棟でのカンファレンス参加による多職種連携とそれを通じた医療安全への寄与
 - ② 後発医薬品の採用促進による経営改善への貢献
 - ③ 精神疾患を有する COVID-19 感染症患者の治療に対する積極的な支援

8. システム・設備

項目	有・無
電子カルテ	○
自動錠剤分包機	○
散剤監査システム	○
水剤監査システム	×
散剤分包機	○
安全キャビネット	×
クリーンベンチ	×

9. 目標

令和5年度病院目標

- ウィズコロナ時代の良質な医療の実現 命の現場である重点医療機関として役割を果たすとともに情報発信を行う。
- 安全・安心の医療の提供 この病院で最も大切な人は患者さんであるという理念を実践する。虐待、いじめがあってはならない。
- 将来の発展のための医療従事者の育成 我が国の精神医療の拠点として国際的にも見本となる人材の育成を目指す。
- 他職種チーム医療の実践 各人の創造的意見を取り入れた活気ある職場づくりを行う。
- 職員の能力の開発 質の高い医療を提供できる自己研鑽、資格取得を行えるよう支援を行う。
- 外来管理棟の早期着工 有効な資源の活用、病床管理により経営の安定を目指し新しい病院づくりを目指す。
- 患者さんに選ばれる病院 温かく優しい病院でありつづけるために努力する。
- 働き方改革 職員の協調とタスクシフトにより医療の質とサービスに低下のない改革を実践

する。

- 早期介入と地域移行 病院と行政、福祉、教育機関との連携を強化する。
- 臨床研究と情報発信 医療の発展が基盤となる。学会に積極的に参加し研究成果を発信する。

令和5年度 薬剤部目標

- 良質な医療の実現にむけた医療支援、関連部署との連携
- 医薬品の適正使用と安全管理の推進
- 人材育成、学会発表、論文投稿および資格取得の推進
- 職員間連携による業務効率化と働き方改革の推進
- 臨床薬剤業務の充実を図り、安全で質の高い薬物療法の提供
- 薬剤管理指導料の算定件数の確保
- 医薬品費削減のための効果的な後発医薬品の導入
- 地域生活中心の精神科医療の推進と早期介入
- 治験および臨床研究への貢献